

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	管轄区分	文献	症例	通正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
												ハルボウイルス	J Gen Virol 2007; 88: 2162-2167	ヒト血漿プール中に新規のハルボウイルスPARV4とその変異株であるPARV5が存在することが最近示された。4株のPARV4と2株のPARV5のDNA配列を分析したところ、PARV5はPARV4と同様に2つのオープンリーディングフレームを持ち、PARV4とPARV5は92%近くのヌクレオチド同一性を示した。両者は密接な関係のあるジェノタイプであり、ジェノタイプ1と2(PRV5と呼ばれていたもの)から成るPARV4という1つのウイルス名を使用することを提案する。
920	2008/02/22	70920	CSLベーリン グ	人血清アルブミン 人免疫グロブリンG 破傷風抗毒素 フィブリノゲン加第XIII因子 ペプシン処理人免疫グロブリンG 乾燥濃縮人アンチトロンビンIII	ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	中国	製造工程	無	無	無			
921	2008/02/22	70921	CSLベーリン グ	乾燥pH4処理人免疫グロブリン	ペプシン	ブタ胃粘膜	米国	製造工程	有	無	無	人畜共通感染症	Vet Microbiol 2004; 104: 113-117	異なった地域のブタから収集された血清検体のうち66.2% (102/154)でフタウイルスDNAが検出された。フタウイルス自体はブタで発現する疾患とは知られていないが、他の病原体と共感染した場合に疾患を増悪させる可能性は否定できない。ブタ臓器などを使用した異種移植の際のヒトへの影響が懸念される。
922	2008/02/22	70922	日本ビー シーシー 製造	精製ツベルクリン	全卵	ニワトリの卵	日本	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザ	Emerg Infect Dis 2007; 13: 1219-1221	イスラエルにおけるトリインフルエンザ(H5N1)の感染性を調べた。ピーグル犬3匹の鼻腔内と気管内に同ウイルスを接種したところ、病気の兆候は示さなかったが、1匹で接種後1-4日目の鼻スワブからPCRによりウイルスが検出された。全てのイスラエルで14日目の血清からH5N1に対する抗体が検出された。結合試験の結果、同ウイルスはイスラエルの上部および下部気道組織に接着することが明らかとなった。イスラエルは臨床症状は示さないが同ウイルスに感染し、ウイルスを拡散させる可能性がある。
												鳥インフルエンザ	Emerg Infect Dis 2007; 13: 1601-1603	2006年にイスラエルの多数の養鶏場で発生した高病原性インフルエンザ(H5N1)のアウトブレイクについて疫学的研究を行い、その時の対策をまとめた。同ウイルスは最近インドネシアで分離されたインフルエンザH5N1ウイルスとは分子的特徴が異なった。イスラエルでのアウトブレイクは9施設中6施設が七面鳥農場であった。迅速な対応により、アウトブレイクは17日間で治まり、2007年8月まで再発していない。